

広報



かわにし

昭和58年10/10 No.302

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎02576-8-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

— 10月1日現在 —

男 4,878 (+7)

女 4,973 (+2)

計 9,851 (+9)

世帯数 2,344 (+1)

() 前月比較



川西中学校のオリエンテーリングを兼ねた遠足が、先月二十七日に雨空の下で行われました。

オリエンテーリングは、自然のままの野外に設けられたいくつかの地点を、地図と磁石だけを使い通過し、できるだけ早くゴールインする競技です。

今回は地図だけを使い、六、七人ずつの班で学年ごとにタイムを競いました。一学年が二十四チームずつでしたので、全校では七十二チームにもなりました。

ポイントは、千手の山と高倉から田戸にかけての広い範囲に二十八セットされました。チームごとにコースを選び、八ポイントを探し仙田小学校に集合するものでしたが、九時に出発して早いチームは正午に到着、遅いチームは五、六時間かかりました。

写真はJポイント(坪山峠平見の付近)を探している二年生たち。

10月の休日救急医

16日 山 口 医 院 (下 条)

23日 池 田 医 院 (本町西)

30日 中 条 病 院 (中 条)

11月上旬の予定

3日 山 口 医 院 (袋 町)

6日 第 二 藤 巻 医 院 (上 野)

議会 報告

今号は、第六回町議会定例会の後半分について掲げました。

再開後の九月八日は、七氏が町政に対する一般質問に立ち、南雲町長がそれぞれ答弁をしました。

九日には、工場誘致条例の改正や一般会計の補正予算などを審議し、いずれも原案どおり可決されています。

九月定例会の会期は十日まででしたが、一日を余し終了しました。

一般質問に七氏が立つ

学園誘致の

施策は

◆若山三郎議員

- ①中子地区学園誘致の施策をどのように講じられるか。
- ②観光産業の方向付けをお聞かせ願いたい。休養施設を活用するミニスキー場の計画はないか。
- ③工場整備幹線農道に農業用車優先の標識を立てられないか。

◆南雲町長

①中子地区学園誘致運動は、昭和五十年から始まった。教育産業を興し町発展の起爆剤にしたいという考えからである。日本全寮学園、京北学園分校、星宮薬科大学と話が移ってきたが、進展していない。



トップ質問は若山氏

中子関連の土地代金などは五億円を上回り、町財政に極めて大きな影響を及ぼしている。

学園誘致問題は、白紙に戻して再出発する必要があると考えている。特に、町財政の立場からは土地を有償で売却できる候補を探すことが必要と考える。

②この地域の持つ自然的環境や天然資源に、補助的に手を加えることによって観光地とし、誘客する方法を常に思い巡らしている。雪を利用した観光、スキー場を設置すれば、ということだが、第四次総合開発計画の答申を待ち、これを基にして改めて考える。

③交通法規上からもなかなか困難である。

川大橋（仮称）を架けるといふこの問題は、十日町市と川西町の将来関係に大きな影響を与える事柄である。早期に完成させ、両市町の相協力しあう体制づくりの一歩としたい。

法線の決定が問題であるが、市側は都市計画道路（西線）への乗り入れでよいということ幅があり、位置の決定は川西主導型ともいえる。

関係機関の指導と調整をいただき、基本的な考えをまとめ、市と県へ赴き、その様子によって期成同盟会を結成したい。

②五十九年四月採用からは公募採用を実施していく。別の方法は考えていない。

現在臨時的任用者が大ぜいいる。それぞれ特殊な事情はあるが、決して正常な姿ではないと考えている。これらの人たちが町職員として進むには、採用試験を突破する努力をしてほしい。

職員採用は地方公務員法に基づいて行う。

③過疎に歯止めをかけるには、男子の就労の場を確保するしかない。生活のできる状況を作らなければ、若年層の流出や家離れは避けられない。このことから、男子向きの企業誘致を最大の政策として採用しなければならぬ。

来々四月には機構改革を行い、企業誘致の専門職を置きたい。転

新信濃川大橋

架橋の促進を

◆保坂次夫議員

- ①新信濃川大橋架橋の促進についての考えは。
- ②町職員の公募採用と暫定補佐員臨時職員との関連性。
- ③工場誘致についての具体的な方法を説明願いたい。

◆南雲町長

- ①十日町橋と架橋の中間に新信濃

保育所の

諸問題

◆戸田哲次議員

- ①三歳未満児の保育料は高額なため、保育希望はあっても入所させることがたいへんである。未満児の保育料を軽減する措置を五十九年度予算の中で検討願いたい。
- ②希望される家庭のために朝八時から夕方五時までの延長保育が行われているが、気兼ねなく預けられる体制づくりを望みたい。

◆南雲町長

- ①出生数の減少で五十五年度から定員割れの状況が起こり、年々多くなっている。

定員割れを防ぐため、三歳未満児の保育に力を入れては、ということはお説のとおり。保育料の最高は四万七千五百円である。

軽減してどの程度定員割れを補てんできるかを調べてみる。軽減額が一般財源増となるので、他市町村の情勢などを参考に、前向きに検討し早めに結論を出す。

□ 押木社会課長

② 時間外保育については園長に十分話をし、対応には努力しているつもりである。申し込み手続きがやかいかと思うが、気兼ねすることなく申し込んでもらいたい。保母の勤務体制としては早番、遅番で対応している。

克雪生活圏整備事業

導入の考えは

◇ 上村広治議員

① 克雪生活圏整備事業を取り入れる考えはないか。この事業の中には、屋根雪処理施設や流水利用の除排雪施設なども含まれており、雪国でいちばん苦しんでいる屋根雪処理の改善が図れる。

川西町の克雪計画をどのように推進し、取り組んでいけるか。

◇ 南雲町長

① 克雪生活圏整備事業は、国土庁主管の補助事業である。この事業では共同利用のものを対象としている。

個人施設の融雪屋根構造は含まれていないなどの事業内容から考えて、早急に川西町で取り入れるということは容易でない。

融雪屋根は、地下水の枯渇にも関係なく、道路の除排雪労力も軽減する。五つの政策の中にも掲げているとおり、新年度からは融

雪屋根の建築に対しては助成措置を講じたい。国県へも働きかけ、制度の中に入れてもらうよう努力する。

道路除雪は、今までの線の延長を図っていく。

長期的な展望としては、総合開発計画の答申をちゅうだいでいから、財政的な検討を加え実施していく考えである。

故根津町長の

顕彰事業は町で

◇ 田中三郎議員

① 故根津町長は、町長在任中はもちろん、町職員として合わせて三十六年有余町政に尽くされ、その功績はまことに大きい。その遺徳をたたえ、町が顕彰事業を行うことについての所信を伺いたい。

◇ 南雲町長

① 土地改良区が独自に顕彰事業の計画を持っているが、根津町長の遺徳を顕彰するのは、全町一致、町内各種団体を網羅した話し合いによって建立されるべきではないかと考える。

土地改良区が事務的に先行しているの、どの程度譲歩してくれかが問題である。

後世に悔いの残らない形で建立したい。

災害への

対応のしかた

◇ 高橋礼三議員

① 台風五号の雨量は大変なものだった。災害時は決断に悩むことが多いが、連絡方法、情報放送、系統的指令の徹底を願いたい。

② 生ゴミ処理器設置補助についての考えは。

◇ 南雲町長

① 平素の防災訓練、防災対策が重要視される。災害時には総代など責任ある立場の人は、急を要する場合には決断をしなければならぬ。具体的な手段は川西町地域防災計画に示されている。

□ 南雲総務課長

災害対策基本法に基づき、川西町地域防災計画を立てている。川西町防災会議が頂点に立つ。大きな災害が発生した場合災害対策本部が設置され、そこから各機関に指令が出る。

即発する災害に対処するには系統的なことは言っていられない。最先端で対策に依りてくれるのは消防団である。消防団の最終的な責任者は町長であるが、総代などの立場の人は、身近な部長や幹部に出勤を要請し、災害の予防に当たってもらいたい。

直接住民から119番をしてもらうと消防分遣所につながるの、

そこから指令が出る。

災害は夜間や未明に発生することが多く、系統的には活動しにくい。地区の責任者が応急に消防団に出勤を願った場合などは、事後決裁という形で処理をしている。

町の施設の破壊もやむを得ない場合がある。道路破壊が必要なきは建設課へ相談してほしい。

県庁や建設省からは、情報、予防指令がくるので、住民に提供する方法を考えていく。

□ 高橋建設課長

五号台風による決壊は曾根川が二か所、小海川が五か所である。県の復旧分と町の復旧分があるが、策定終了後に速やかに着工するようにしたい。

◇ 南雲町長

② 家庭から出る生ゴミは年々増え続けている。生ゴミは消却能力を極度に低下させ、燃料の使用量を増加させている。

生ゴミ処理器の効果は高いようだが、普及のための補助は、衛生施設組合で検討し、実施するのが実情に即すると考えている。

役場庁舎

建設計画の有無

◇ 押木元男議員

① 役場庁舎建設の計画の有無。

② 町長室、議場、事務室などで見直す必要があるところはないか。

その他の町有建物の管理と利用については。

③ 役場の駐車場状況が年々悪化すると思われるが対策は。

◇ 南雲町長

① 庁舎の新築、増改築の計画はない。昭和四十五年に増築した際の借入金金は七十年度に完済する。財政事情から新築の状況ではないと考えている。

② 事務改善のプロジェクトチームを作り、組織機構、事務の合理化等々の検討をしている。庁舎については機能的な事務運用を図れるように考えてほしい。

庁舎外には教育委員会と町史編さん室があり、庁舎内には土地改良区がある。

遊休施設としては、旧千手保育園、旧千手町の体育館、旧北原分館、旧農業センター、旧藤沢冬季分校、福祉センター、民俗資料館、田戸分館がある。田戸分館は取り壊し、藤沢分校は藤沢部落に譲与したい。

③ ハトや時計電気店の裏側を借用した。冬も利用できるようアスファルト舗装をしたい。

駐車場の混雑を緩和するため、千手地内職員はマイカー通勤の自粛をしている。

駐車場の造成は難しく、来庁の方のためには職員が協力するしかない。

議会報告

国民健康保険診療所 運営委員が決まる

川西町国民健康保険診療所運営委員が次のとおり決まりました。
(敬称略)

▷小川清次(議会議長)、▷小林正人(議会副議長)、▷上村広治(議会議員)、▷登坂茂(議会議員)、▷滋野一郎(議会議員)、▷平野圭二(議会議員)、▷清水俊六(地元選出)、▷内山重義(地元選出)、▷須藤ハルノ(地元選出)、▷南雲ハルエ(地元選出)

小川議長が

常任委員を辞退

小川清次氏は、議長に就任したことから総務文教常任委員の辞退を申し出、議会の同意を得ています。

◎可決されたもの

▽工場誘致条例の一部改正

奨励措置の対象として指定するものを過疎法適用のため県と一致させました。工場生産設備を構成する建物、その付属設備などの取得価額の合計額が今までは千二百万円を超え、でしたが千五百万円を超え、に改めています。

▽財産の取得

町道除雪に当てるため、ロータ

リー除雪車を二台購入します。取得予定価格は千九百四十八万八千円で、三分の二は国庫補助となります。

▽五十八年度一般会計補正予算(第二号)

六千七百五十三万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二十八億百五十一万七千円としました。

歳入の主なものは、普通交付税

が三千六百六十八万六千円増えたこと。そのほか増えたものとしては、災害復旧費国庫負担金が五百六十八万二千円、造林事業費補助金が五百四十八万円、災害復旧費の県補助金が四百八十八万八千円、地域休養施設食料が五百五十六万五千円、それに災害復旧債が四百万円などとなっています。

歳出のほうでも増えたものが日

立ちます。その主なものとしては、地域休養施設運営費の五百五十六万五千円、造林事業費の五百六十一万八千円、農地農業用施設災害復旧費の六百一十一万円、公共土木施設災害復旧費の八百五十二万円が上げられます。また、普通債の繰上償還分として三千二百七十六千円の増額補正がありました。

▽五十八年度老人保健特別会計補正予算(第一号)

今までの予算に二百一十一万一千円を追加し、予算総額は歳入歳出それぞれ四億三百八十八万六千円となりました。

歳入では繰越金が二百四万四千円増、歳出では償還金が百五十六万九千円の増などとなっています。

▽五十八年度水道事業会計補正予算(第二号)

第二期拡張事業費一億五千五百二十八千円を一億二千四十万四千円に補正するなどです。

▽五十八年度国民健康保険診療所特別会計補正予算(第一号)

二十万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ八千五百九十九万一千円としました。

歳入は診療収入です。歳出は総務費の施設管理費に充てられています。

町史コーナー

仙田村 指出明細帳

仙田村指出明細帳(抜)

一 当村より出雲崎御役所元へ拾七里、峠拾里、浜七里、舟渡五ヶ所

一 頸城郡松之山の内、滝沢村持分萩原山と申所定請仕、山手銭八百文田畑年貢代として米六斗宛、年々十月中米銭共、右村へ相済入来り申候

一 御支配御役人様方魚沼郡御通行の節、仙田村の人馬継送りの儀は、三嶋郡門出村より魚沼郡上新井村へ御通行の節、三嶋郡栃ケ原村分地赤坂より

上新井村迄、仙田村にて人馬継送り来り申候、上新井村より門出村へ御通行の節は、上新井村にて仙田村迄人馬継送り来り申候、仙田村より栃ケ原村赤坂迄、仙田村にて継送り来り申候、御支配出雲崎御役

人様方、魚沼郡上新井村より刈羽郡小国谷三桶村御通行の節は、会津御預所魚沼郡野口村より三桶村の間、仙田村にて賃銭にて送り来り申候

一 高九百五拾式石三斗五升九合、此反別百六拾町四反式畝拾八歩、内、田方三拾九町八畝式拾六歩、此高四百五拾八石六斗八合

一 一家数四百五拾七軒
但、百姓三百八拾軒、格番庄屋五人、格番組頭五人、格番百姓代五人、内組頭拾五人、杜人老人、名子三拾五軒

一 百姓作間の稼、男は冬中は雪を掘り、其間に少々宛紙を渡売申候、女は縮の下袴を致、四、五月になり候得ば、小千谷・十日町へ出売申候

一 洩海川、頸城郡松之山より流出、川下は千曲川へ落申候

一 古城四ヶ所、城主相知れ不申候、但し、老ヶ所田戸、老ヶ所赤谷、武ヶ所室島

一 仙田村々不残皆金納場所に御座候、津出無御座候

一 隣村市場の儀、小千谷・十日町雪消え次第に四月より縮市立申候、千手馬市は七月七日より十二日迄立申候

一 川除普請所、無御座候
一 運上物産等の儀、無御座候
一 柿渋茶の運上無御座候
一 御人用建野谷地・作場等の

ご芳志をお寄せください

去る五月二十二日、突然他界された根津正三前町長のご遺徳をたえ、後世に残すべく、頌徳碑を建立することに

*** 建立の場所** 川西ダム周辺
*** 完成予定** 五十九年五月二十日

故根津前町長の

頌徳碑を建立

について、川西町土地改良区で種々ご配慮を賜っていたところ、せっかくの企画で

ありますので、全町を挙げての事業としては、という大ぜいの方のご芳志もあり、検討を重ねてまいりましたが、このたび、次のような計画で、建立に向けて取り組むことになりました。

*** 碑文揮毫** 国務大臣環境庁長 官 梶木又三先生
*** 建設費** 四百二十万円
この事業は、土地改良区からの拠出金二百万円と、皆様方から温かい浄財のご寄付を仰ぎ建設する

ことになりました。町内各団体や各界代表の方々と構成する建設委員会が主体となって事業を進めてまいりますが、何とぞこの趣旨をご理解願ひ、ご賛同いただきまして、ご芳志をお寄せくださるよう、心からお待ち申し上げます。

建設委員会は役場に事務局を置き、会計担当には収入役を当てますが、各町内、部落にもお世話くださる方を決めてお願いすることになりましたので、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

故根津正三氏頌徳碑建設委員会 委員長 川西町長 南雲春雄

増刷りました

こぼれ話第一集

町史こぼれ話の第一集を増刷りました。

これは、五十六年十一月に発行していたものですが、町史編さん事業に着手して初めての刊行物でもあり、多くの方々から好評をいただいたものです。売り切れてすでに久しくなっ

ていしましたが、たくさんの方々の購読希望や照会の声をもとに、このほど増刷りに踏み切りました。

増刷りといっても数に制限がありますので、ご希望の方は早めに町史編さん室までご連絡ください。(☎8-2128、有線3094)

参考までに第一集の内容は、第一編、町史調査専門委員の所感、調査現況、第二編、町史に關係する文獻、史料等でこれまでに新聞、機関紙等に発表され

資料提供者(敬称略)

野上実(十日町市高島)、奥山湖南(伊友)

主な提供資料(一内西層)

・新道一件願書控(二八六・三)
・覚一長徳寺由緒書(二六〇)

類、無御座候

薬草献上物所、無御座候

御高札場五ヶ所、中仙田村

・田戸村・赤谷村・大白倉村

・室島村、是は切支丹札・火

附札・強訴札・浪人札、掛来

り申候

米金年々御拝借被仰付候

田方肥彦反に付、刈敷拾五

荷程、其外入不申候、尤、稻

葉の儀は久蔵かるこ・庄内と

く田・上田くろ早生・早稻・

晩稻共々作り来り申候

麦作り不申候

麦作等の両毛作りは、雪国

故作り不申候

畑方作は、種・大豆・大角

豆・蕎麦・荏草・畑芋・大根

作申候

一 当村の土は黒土・砂土に御

座候

一 質地道段、上田老反に付、

金老両式分より式両迄、上畑

老反に付、金式分より老両迄

公儀の御林、無御座候

一 仙田谷の内、南北へ式里程、

東西へ壹里程

一 国境目、東は同郡上野、西

は刈羽郡山中、南は頸城郡松

之山、北は刈羽郡小国谷

一 鉄砲四挺、但、預主室島村

長作、高倉村弥右衛門、小脇

村次兵衛、大白倉村又右衛門

一 禅宗相国寺、室島村、此除

地屋敷高老石四斗六升六合

村数十五ヶ村

一 庄屋給米四石七斗七升式合

但し、高百石に付五厘宛掛取

来り申候、庄屋持高夫伝馬人

足村中にて余荷、筆墨紙代永

老貫文取来り申候

一 酒造り株、無御座候

一 水車運上、無御座候

一 藍玉商、無御座候

一 御朱印地、無御座候

一 苗字帯刀の者、無御座候

一 紺屋・ござ・狩人・穢多・

煙宅・乞食・村々に無御座候

一 近來遠島・追放・御仕置者

・剝離・勘当・穴落の者、無

御座候

一 当村より江戸へ、信州通九

拾八里、同、三国通七拾壹里

一 船渡り四ヶ所、但し、船守

夫食は拾五ヶ所にて、少々宛

余荷来り申候

一 仙田村持分山の内、御領所

三島郡大沢村へ、山手銀にて

入れ来り申候

一 用水場式拾壹ヶ所、沢々よ

り取上申候

右は、此度御代官様被仰付候に

付、反別其外村方明細に書上申

候、以上

越後国魚沼郡仙田村

庄屋 重右衛門

組頭 治右衛門

百姓代 治左衛門

安永七戌年正月

出雲崎御役所

総合開発計画の 委員が交替

九月定例会の議事人事に伴い、第四次川西町総合開発計画審議会委員の交替が次のように行われま

した。

▼第一部会（産業・建設）

保坂次夫・桑原要雄の両氏から押木元男・小海貞二の両氏に替わっています。

▼第三部会（教育文化・行財政）

羽鳥欣一氏から高橋弥太郎氏になりました。

行政にあなたの声を

行政相談週間が近づく



行政の改善に役立てていく——それが「行政相談」です。

川西町ではこの期間中に次により行政相談が行われます。相談員は富井源蔵さんです。

・十月十七日 午後一時～三時

総合センター

・十月十九日 午後二時～三時

克雪センター（心

配ごと相談と合同）

・十月二十二日 午前九時～十一

時

上野連絡所

ねんきん「年金手帳」をたいせつに

わが国には国民年金をはじめ、厚生年金保険、船員保険、各種共済組合など「公的年金」と呼ばれる八つの年金制度があります。

このうち、国民年金、厚生年金、船員保険の三つの年金制度は社会保険庁で取り扱っており、このいずれかの年金制度に加入しますと「年金手帳」が加入者の皆さんに交付されます。

以前はこれら三つの年金制度では、それぞれ独自に「被保険者証」と「国民年金手帳」を交付していましたが、加入者の便宜を考え、三つの年金制度をセッとした一冊の年金手帳に切り替えました。この「年金手帳」には三つの年金制度のそれぞれの記号番号が記入できるようになっています。その人の一生を通じて同じものが使用されるので、加入者にとっては分身ともいえるたいせつなものです。

同じ年金制度で二つ以上の記号番号を持つことはありません。もし二つ以上持っている人は、国民年金は役場年金係へ、厚生年金は長岡社会保険事務所へ申し出てください。その結果、二つ以上の記号番号と加入期間は整理統合され、一本の記号番号

と加入期間になります。

また、「年金手帳」を紛失したり汚した場合、その旨を申し出れば再交付されます。「年金手帳」は将来年金を受けるときに必要なものですから、たいせつに保管しましょう。

出稼ぎされる

皆さんに一言

まもなく出稼ぎに行かれる皆さん、出稼ぎでいちばん望まれることは「明るく出かけ、元気に帰る」ということです。年金のことも忘れないでください。・「年金手帳」は忘れずに持参しましょう。

出稼ぎ先の職場の労務担当者に「年金手帳」を提出して、厚生年金の記号番号（初めて厚生年金に加入する人）、加入年月日、喪失年月日を記入してもらってください。出稼ぎの期間（厚生年金加入期間）は国民年金の加入期間と合算し、将来「通算年金」として受けることになります。

出稼ぎ先で厚生年金に加入したときは国民年金の喪失届を、出稼ぎから戻ったときは国民年金の加入届をそのつど速やかに

手続きしてください。

児童手当を

振り込みました

十月七日に、六月分から九月分までの児童手当を振り込みました。それぞれ届け出をしてある金融機関口座で確認をしてください。

次の支払いは一月です。

福祉年金証書を次の日程でお渡しします。

福祉年金証書の引き渡し

期 日	時 間	会 場	対 象 地 区
10月25日	午前8:30～午後5:00	役場年金係	千手地区
"	午前9:00～11:30	上野連絡所	上野地区
"	午後1:00～4:00	橋出張所	橋・白倉地区
10月26日	午前9:00～11:30	克雪センター	仙田（白倉を除く）地区

自治功労者として勲五等瑞宝章の叙勲に輝く水品正一郎さん（二領）から、このたびの栄誉に際しての感慨をお寄せいただきました。

終生忘れられない感激

水品 正一郎

四月一日、県総務部長から「昭和五十八年春の叙勲内定について、このたび貴台のご功績に対し、四月二十九日付をもって勲五等瑞宝章が授与される旨内示がありまして、なお知らせします」の通知をいただいたときは、思わず大声で家内に知らせて喜び合いました。

五月十六日は、春の生存者叙勲受章者が皇居で天皇陛下の拝謁を賜る栄誉の日でした。新潟県からも十一人が夫人同伴で、都道府県会館に集合しました。正装の胸に勲章を輝かせて、自治省の専用バスで坂下門より参内、宮内庁係官の先導により長和殿春秋の間に整

叙勲祝賀会での水品さんご夫妻



列してお待ち申し上げることにしました。しばらくして天皇陛下は侍従長を従えられてお立台にお成りになり、「おのおのがそれぞれの道に長い間たいへんご苦勞でありました。今後とも体をたいせつにして社会のために働くように」とありがたいお言葉を賜り、ご会釈のうえ御座所へお帰りになられました。私は、陛下の尊いお姿と玉音を間近に拝し、ただただ感激で涙がいっぱいでした。この感激は終生忘れることができません。

また九月十日には、町長、議会

議員を始め、私を長い間ご指導、ご鞭撻くださいました諸先輩、長

い間ご支援くださいました大ぜいの有志の方から叙勲祝賀会を挙行していただきました。南雲町長からは「受章は町全体の名誉です」と身に余るご祝辞をいただきました。

今回の栄誉に報いるため、いっそうの精進に心がける所存です。

小林浩康さん 労働大臣表彰の栄誉



小林浩康さん（神社町）は、「障害を克服し旺盛な勤勞意欲をもつて優秀な勤務成績をおさめられ……」として、心身障害者雇用促進月間に当たる九月の一日付けで、労働大臣から表彰されています。小林さんは二歳のとき、小児マヒにかかり右足が不自由になってしまいました。（二種二級）

昭和二十五年から十日町市の庭野電気商会にお勤めで、設計や修理などを担当されています。周囲の方々からの信望も厚く、会社にはなくてはならない人とのことで

す。「表彰は会社や周りの人たちの温かい思いやりのおかげです。学校時代は八年間無欠席でしたし、遠足へもみんなといっしょに行きました。そうした苦勞が今では役立っているようです」と小林さん。

『小さな親切』運動 川西町集会を開催

「思いやりと親切がいっぱいの町に」をスローガンに『小さな親切』運動川西町集会を開催します。

◆期日 10月15日（土）
午後1時から
◆会場 千手小学校体育館
◆主催 川西町青少年育成町民会議

川西町青少年問題協議会
当日は、新潟県社会教育協会の吉津勝栄先生（青少年育成新潟県民会議副会長）の「青少年健全育成における家庭や地域の役割」と題した講演があります。たくさんの方々の参加をお願いします。

旧千手保育園を競売します

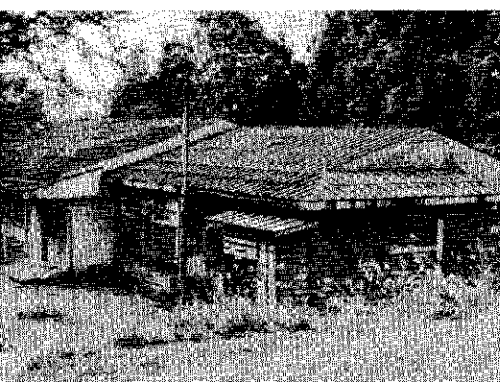
旧千手保育園（建物のみ）を競売します。希望される方は、10月20日午前10時（時間厳守）に役場企画室までお越しください。

詳しいことは、企画室（☎8-3111・有線2122）へ照会ください。

- 所在 川西町大字上新井83-1
- 建物構造 木造平屋建
- 面積 331.87㎡
- 取り壊し期限 昭和58年11月20日

※当日は印鑑を持参ください。

旧千手保育園



みんなの胸に
赤い羽根

10月1日から共同募金運動始まる

ひろば

不順な天候が続く、コシヒカリの倒伏が著しく、今年の秋の取り入れはまったくたいへんでした。秋もたけなわとなり、各地でいろいろの行事が計画されています。「ひろば」でもいくつかの催しを紹介します。あなたは、どんなプランで秋を楽しみますか。

町民マラソン大会を

お楽しみください

第八回町民マラソン大会(故郷津正三追悼記念大会)が次により行われます。

○期日 十月二十三日(日)

○会場 総合体育館

午前八時三十分(開会式)

・川西中学校グラウンド

午前九時三十分(マラソン大会開始)

○主催 川西町体育協会

○参加資格 川西町民または川西町に勤務する人

○参加料 五十円(保険料)

○競技内容

・Aコース(川西中―山松ガソリンスタンド前折り返し一・五キロ)

・Bコース(川西中―上野諏訪神社前―総合センター前―川西中五・二キロ)中学生男子、高校生男子、一般三千五歳までの男子

・Cコース(川西中―上野諏訪神社前―総合センター前―川西中五・二キロ)中学生男子、高校生男子、一般三千五歳までの男子

・Dコース(川西中―上野諏訪神社前―総合センター前―川西中五・二キロ)中学生男子、高校生男子、一般三千五歳までの男子

以上

体育協会が表彰

体育協会では、次の方々を十月二十三日に総合体育館で表彰します。(敬称略)

○申込締切 十月二十日午前中
○申込先 総合体育館内社会教育課

・小林俊久(山野田)

・市川 敦(中屋敷)

・丸山道弘(高原田)

・清水道晃(上町)

・高橋隆二(上町)

・相模 県中学総合体育大会個人優勝

・相崎幸子(田中町)

卓球 県大会ホープス女子の部

☆郡市錦鯉品評会

- とき 10月20日(木)
- ところ 総合体育館
- 一般公開、即売は正午～午後3時

☆節黒城キノコ狩り大会

- とき 10月23日(日)
- ところ 節黒城跡
- 9時30分に上野支所前からマイクロバスが出ます。
- 特別賞、参加賞がたくさんあります。
- 昼食、キノコ汁、祝酒をサービス
- 会費 1人1,500円
- 17日までに若山三郎さん(☎8-3256)へ申し込みください。

☆鯉つり大会

- とき 10月16日(日)
- ところ 月見ヶ原公園
- 前売券 大人2,000円
子供1,000円
- 鯉こくサービス
- 申し込みは千手丸新商店まで(☎8-2049)

☆ふるさと芸能まつり

- とき 10月30日(日) 午後1時開演
- ところ クロス10(地場産業振興センター)
- 11月6日にテレビ新潟で放送予定 ※川西町からは野口の「かべぬりおけさ」が出演します。

☆体育功労者

・藤本秀雄(伊友)

千手地区のスポーツ発展に貢献

・星名庄蔵(学校町)

柔道選手の育成、指導に尽力

・優秀競技者

・村越繁正(野口)

卓球 県社会人選手権サテーター優勝

・優勝

・小林俊久(山野田)

陸上 全国高校駅伝大会出場

・市川 敦(中屋敷)

陸上 全国高校駅伝大会出場

・丸山道弘(高原田)

陸上 全国高校駅伝大会出場

・清水道晃(上町)

空手 北信越空手道選手権大会少年個人組手試合二位

・高橋隆二(上町)

相模 県中学総合体育大会個人優勝

・相崎幸子(田中町)

卓球 県大会ホープス女子の部

優勝

☆感謝状

・山賀規司(十日町市)

青少年の指導、育成に尽力

・皆川一夫(分水町)

剣道スポーツ少年団の育成

・矢部和之(新潟市)

川西高校陸上部の選手を育成

・桑原 正(津南町)

スポーツ少年団(野球)の育成

・清水 稔(十日町市)

スポーツ少年団(野球)の育成

▲十月二日、総合体育館と川西中を会場に全日本九人制バレーボール総合男子選手権大会新潟県予選会が開かれました。(地元波海は二回戦で敗退)



アンデパンダン展

川西町美術協会では、第九回アンデパンダン展を開きます。

▽期日 十一月十一日・十二日

▽会場 総合センター

▽事務局 川西高校(☎8-3660) アンデパンダン展係



▲九月二十九日、台風10号により信濃川が増水、沖立では消防団員などが懸命の作業で被害を最小限に食い止めました。

調理師試験の実施

- ◇日時 12月1日 午後1時から
- ◇場所 六日町
- ◇科目 衛生法規ほか5科目
- ◇受験資格 厚生省令の定める施設または営業で2年以上経験のある人
- ◇願書提出 10月17日から25日までは午前9時から午後5時まで、26日は午後3時までに住所地を管轄する保健所へ

※受験願書は十日町保健所にあります。問い合わせは保健所か役場健康管理室へどうぞ。

危険物取扱者試験の準備講習会

県では、11月中旬に危険物取扱者試験を予定していますが、県危険物安全協会では、それに備えた受験準備講習会を次により開催します。

- ◇期日 10月20日・21日
- ◇会場 十日町地域地場産業振興センター（クロス10）
- ◇講習対象者 乙種第四類の危険物取扱者試験の受験者
- ◇受講料 危険物協会員 3,000円
非協会員 6,000円
- ◇申し込み 受講希望者は10月13日までに十日町地域消防本部予防課へ

板碑をさがしてください



写真は板碑といって、南北朝時代（今から約六五〇年前）に作られた供養碑です。板碑はそれ自体が貴重な文化財であると共に、妻有地方の中世史をひもとく上でもたいへん重要な史料ともなっています。

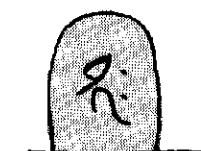
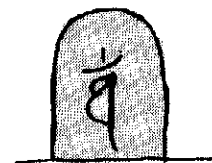
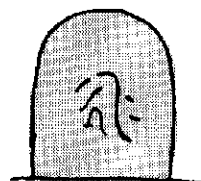
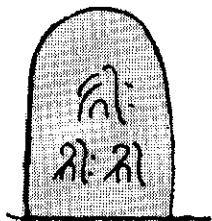
川西町の板碑の特徴としては、そのほとんどが安山岩系の自然石に、阿彌陀三尊、阿彌陀如来、大日如来などの種子（「梵字・古代インドの仏語」）を刻んだもので、紀年銘は圧倒的に南朝年号のものが多く、ということが言えます。

阿彌陀三尊

阿彌陀如来

大日如来

釈迦如来



現在川西町では三十一基の板碑が確認されていますが、まだ未発見、未確認のものが相当数あるのではないかと考えられています。墓地、神社、堂、裏庭などでその多くが発見されていますが、ときには林の中、田や畑のはしなどにある場合もあります。もしこれらと同様なもの、似ているものなどを知っておられる方、見つけられた方がありましたら、歴史民俗資料館までご連絡ください。

☎8-2128 有線3094

わしの自慢

ノッポナスは

出稼ぎ町民のアイデア

赤谷

高橋源治郎さん

（出稼ぎ先 柏崎市自然休養村）
私は今でも柏崎へ出稼ぎ中です。

最近、私の野菜作りをマスコミ（新潟日報と柏崎日報）が取り上げました。それから「品種はのし、作り方はのし、来年は苗を分けてくれ」等々の照会がナスをバックに高橋さん



あり、その都度調子に乗り過ぎないようあいさつしています。そもその動機は、耕地に恵まれていた仙田から柏崎へ出て入手した狭い野菜畑。そこへなんでも作ってみたい性分。狭い面積を都会のビルのように天空へ高く伸ばし有効に使おうと、じょうぶな支柱を立て、野菜を上へ上へと伸ばしてみました。ナス、トマト、いずれも二メートル以上、今でも立木は元気でどんどん収穫しています。

苗木は市販のもの、古畳で作ったたい肥をたっぷり基肥に施し、数年前から自宅で始めた野菜のアパート化ですが、通行人の関心が高いので今年から職場（米山山荘）に持ち込みました。

ここは米山大橋高台の観光地、訪れる人がびっくりしたり、手間暇かけ材料を使って、その上収穫するに不便だろうに、物好きな大人がいたもんだ、等々雑音を聞くのも楽しい毎日です。また今年はパイプを使って四角キュウリを作ってみました。来年は透明パイプを使って、三角やカマボコ型の料理に使う変形野菜を作ってみようとかふう中です。

「わしの自慢」に初めてお便りが届きました。これからもしどしどご寄稿いただきたいと思います。

胃 集 団 検 診 日 程 表

期 日	受 付 時 間	会 場	対 象 地 区
10月31日	午前8:30~11:00	克雪センター	仙 田
11月 1日	"	上野連絡所	上 野
2日	"	橘出張所	橘
4日	"	総合センター	千 手

胃の検診

四十歳を過ぎたら迷わずに

胃ガンは特有の自覚症状がないので、早期発見が何よりたいせつです。

また、四十歳を過ぎるとガンになりやすいと言われています。症状のあるなしにかかわらず、検診を受けましょう。

▽日程 別表のとおり
▽料金 千円(七十歳以上の方は無料)

子宮ガンの

早期発見を

子宮ガン検診を次により行いま

子 宮 ガ ン 検 診 日 程 表

期 日	受 付 時 間	会 場	対 象 地 区
10月13日	午前9:00~10:00	総合センター	千手地区
"	午後1:00~ 2:00	上野連絡所	上野地区
10月14日	午前9:00~10:00	克雪センター	仙田地区
"	午後1:00~ 2:00	橘出張所	橘地区

●検診料は700円です。当日持参ください。

す。集団検診を受け、早期発見に努めましょう。

お知らせ

公民館だより

10月と11月上旬の社会教育日程

期 日	学 級 講 座 名	学 習 時 間	会 場
10.14(金)	仙田地区高齢者学習級	午前9:00~	郡 市 内 一 円
10.14(金)	白倉婦人学級	午後8:00~	小白倉集落センター
10.18(火)	田中体力づくり学級	午後8:00~	田 中 公 民 館
10.18(火)	青年学級(スポーツ)	午後8:00~	上 野 小 学 校
10.19(水)	町内ゲートボール大会	午前9:00~	川 西 中 学 校
10.21(金)	青年学級(料理)	午後7:30~	総 合 セ ン タ ー
10.22(土)	千手婦人学級	午後1:00~	総 合 セ ン タ ー
10.23(日)	町内フレッシネス大会	午前9:00~	総 合 体 育 館
10.25(火)	千手家庭教育学級	午後8:00~	総 合 セ ン タ ー
10.25(火)	青年学級(スポーツ)	午後8:00~	上 野 小 学 校
10.26(水)	木落婦人学級	午後8:00~	木 落 公 民 館
10.30(日)	町内青年会・青年学級バレーボール大会	午前9:00~	総 合 体 育 館
11. 1(火)	青年学級(スポーツ)	午後8:00~	上 野 小 学 校
11. 4(金)	青年学級(料理)	午後7:30~	総 合 セ ン タ ー
11. 8(火)	青年学級(スポーツ)	午後8:00~	上 野 小 学 校
11.10(木)	千手高齢者学級	午後2:00~	総 合 セ ン タ ー
11.11(金)	木落高齢者学級	午後2:00~	木 落 公 民 館

麻しん(はしか)の

予防接種

麻しん(はしか)の予防接種を次の日程で行います。

◎対象者

*五十六年五月九日から五十七年五月七日までの間に生まれた人

*今までに受けなかった三歳までの人

*今までに受けなかった二歳から六歳までの人で接種を希望する人

◎料金

千三百円(当日持参ください)

十月は

ゆうあい号が

二度来ます

次により献車車ゆうあい号が来ます。

十月三十日は川西高校から協力をお願いいただき、緑江祭(文化祭)に合わせて実施することになりました。緑江祭にお出かけの際には、ご協力くださいますようお願いいたします。

◎十月十八日(火)

橘出張所 午前十時から十一時
五十分まで

上野連絡所 午後一時から二時
まで

◎十月三十日(日)

麻しん 予防接種日程表

期 日	集 合 時 間	会 場
11月 8日	午後 2:00 まで	克雪センター
9日	" 1:20 まで	総 合 セ ン タ ー
10日	" 1:50 まで	橘 出 張 所
11日	" 1:50 まで	母 子 セ ン タ ー

精神衛生相談を

行います

川西高校 午前十時から午後二時まで

ノイローゼ気味、眠れない日が続く、他人のことやささいなものに気がなる、乱暴をする、職場や学校へ行きたくないなどの心の問題をお持ちの方は、気軽に

お出かけください。代理の方でもけっこうです。

*日時 十月二十七日 午後一時三十分

*場所 総合センター研修室

*担当医 中条病院佐賀先生

*相談は無料、秘密は厳守します。

魚沼高等職業訓練校で

生徒募集

県立魚沼高等職業訓練校（堀之内町）では五十九年度の生徒を募集しています。

▽募集訓練科 建築科二十人・左官科二十人

▽応募資格 中学校または高校卒業以上（来春卒業予定者を含む）

▽年齢 おおむね二十歳以下の人

▽訓練期間 二か年

▽願書受付 十月十七日から十一月十二日まで

▽選考日 十一月二十八日

※詳しくは、訓練校（☎025794-2410）へ問い合わせください。



次の善意が寄せられました。

■社会福祉協議会へ

※高橋ていさん（坪山）から五万円

円

※相崎基平さん（下平新田）から五万円

円

※藤巻勇さん（塩辛）から三万円

※中村武さん（坪山）から十万円

※室岡倉一さん（山野田住宅）から三万円

※南雲吉治さん（木島）から五万円

※和田毅一さん（仁田）から五万円

民俗資料

・星名イシさん（上野）から、桂大時計

・田中与三郎さん（山野田）から、ウス、キネ

・金山良晃さん（霜条）から、灯皿一對

・滋野薫良さん（野口）から、マングワ、オブケ、針箱、髪結箱

馬蹄、クツワ（馬用）、水さし、ほか数点

・奥山湖南さん（友重）から、ナタ

・村山米一さん（高原田）から、セイロ、マングワ、サッコ、国債（昭和十八年）

・渡辺正範さん（上野）から、お膳、ラジオ、ベエ、ソロバン、マサカリ、ノコギリ、襦袢、麻袖ナシ、子供股引き、風呂敷、ほか多数

・田村虎二さん（高原田）から、ソバ打ち台、自在カギ、横ツチ、出刃包丁、スタレ、サッコ、トンボ、糸まき、糸あげ車、ほか数点

民具が不足しています

歴史民俗資料館では、皆さんのご協力をいただきながら、展示・収蔵資料の収集に努めています。日常生活民具（なべ、茶わん、衣類など）が不足しています。

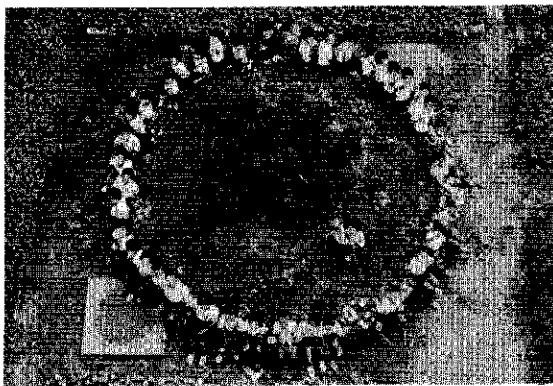
お宅で不用になった民具がありましたら資料館（☎8-2128有線3094）へ連絡ください。

町内さんぽ

花いっぱいコンクール

千手小が優秀賞受賞

一年生もがんばりました



美しい花々で人の心にうるおいを——と行われている「第十六回県花いっぱいコンクール」（あしたの新潟県をつくる運動協会など

母子センター案内

10月17日	妊婦相談・産後検診
10月22日	安産教室
11月2日	妊婦相談・産後検診
11月7日	乳児検診（57年10月、58年5月、7月生）

いずれも午後1時から

停電のお知らせ

- 10月13日（木）／午前9時から正午まで、仁田の一部、野口の一部。
- 10月21日（金）／午前9時から午後1時まで、発電所通東・永久公舎・栄町の一部・朝日町の一部。
- 11月4日（金）／午前9時から午後1時まで、星名新田。

います。

千手小学校では、昭和五十六年度から情操・勤労教育をいっそう充実させるため、新しく花壇を造り、全校児童、職員が一体となつて花づくりを進めてきました。肥よくなつくりと自前の苗を植えることをモットーに、種まき、草取り、水くれ、消毒と一年中休み暇がありません。面積は二・五アール、春にはパンジー、チューリップ、夏と秋にはカンナ、ペコニア、マリーゴールドなどが庭いっぱいに咲き誇ります。また一人一鉢としては朝顔、冬の鉢にはパンジーなどを植えてきたそうです。

花づくりを通じて、「花を育てる」苦勞や喜びを知り、植物の生長を観察し変化に気づき、美しいものを見つめることによって、和やかなムードが学校全体に芽生えてきたそうです。

くらしのひろば

睡眠

セルフ・ヘルスチェック
(健康自己点検) No. 9

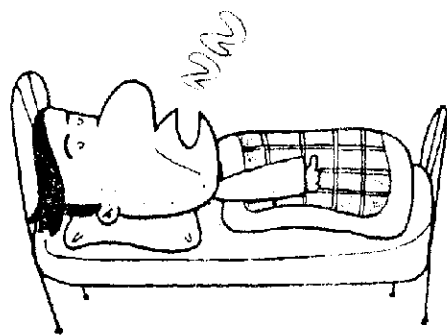
睡眠は疲労を取り去るとともに、翌日の仕事への体力を養うために欠かせないものです。

仕事による過労をはじめ、遊び疲れ、夜更かしは健康の敵です。健康な毎日を送るためには十分な睡眠を取ることが何よりです。眠れないで困るときはど

うして眠れないのだから
うか考えてみましょう。
できるだけ決まった

時間に床に就きましよう。人間の体はだいたい九時か十時ごろまでに就寝するようにできています。この時間に床に就くようにすれば、眠りの体制になっるので寝つきもよいでしょう。十二時前の一時間の睡眠は、十二時以後の二時間の睡眠に匹敵すると言われています。

睡眠の時間は八時間が理想的です。一晩の眠りの波は深い眠りと



浅い眠りの繰り返しです。深い眠りは必ずなん回か訪れます。八時間は床に就くよう心がけましょう。

床の条件は、掛け布団は重過ぎないように、敷き布団は柔らか過ぎないように、まぐらは高過ぎないようにしましょう。晴天の日には布団も日光浴させ、気持ちよく休めるようにしてください。

寝る前に間食をし過ぎたり、お茶の飲み過ぎをしますと、胃袋が重苦しくなり気分よく眠れません。ちょっとした注意で寝つきがよくなります。

眠れない日が続くことは精神的にも肉体的にもよくありません。医師に相談をしてみる必要があります。

戸籍の窓から

たかさこ——ご円満に

- ◎新郎 高橋 賢一 中屋敷
- ◎新婦 庭野加代子 十日町市から
- ◎新郎 沼尾 美幸 大白倉
- ◎新婦 蔵品 裕子 霜 条から
- ◎新郎 小川 良一 岩瀬
- ◎新婦 萩原 厚子 長崎県から

うぶ声——おすこやかに

- 田口香奈子 昭一 長女 木落
- 田口 淳 信雄 長男 木落
- 押木 俊輔 和之 長男 元町



かわにし 俳壇

太田白南風選

霜条 星名 星光

手術後の点滴つゞく夜の長し
病む窓のほのと明るし星月夜

父星に近く母星星月夜

病院を一步二歩出で秋の冷え

天の川瀬もあり滝もある如く

縄引いて二段梯子の高稲架に

霧晴れてゆく信濃川鶴とぶ

三領 水品 律

秋冷の父の忌も過ぎ母の忌も

昇天——ごめい福を祈る

- 丸山 留治 新町新田 五一
- 南雲 トク 木島 六二
- 山口 潔 仁田 七〇
- 和田 フサ 仁田 八三

葛の花荒川土手の草深し

秋光の句座の障子を明け放ち

山荘の庭の一樹も紅葉初む

蒲の穂を活けて晩夏を惜しみけり

赤谷 登坂 紅葉

刻々と形変れる雲の峰

原発の電線わたる雲の峰

星月夜実れる稲のほの白く

虫すだく夜や満天の星月夜

山頂の雪の気配の花野かな

岩瀬 小川 益栄

稲架作る息子の手先もどかし

昏れてゆく稲かけ急ぐ父と子と

長き夜や麻酔のさめぬ妻と居て

行くあてもなき旅想う夜長かな

心配ごと相談

9月の交通事故発生件数

		果	計
死者	2 (0)	20	(13)
重傷者	3 (0)	23	(14)
軽傷者	0 (0)	0	(2)
酒酔気	0 (1)	2	(2)
酒酔気	0 (4)	6	(13)

()内は前年比較

- 10月19日……克雪センター
- 10月26日……総合センター
- 11月2日……上野連絡所
- 11月9日……橘出張所

野口 野沢 寅生

燕去ぬ村を去り行く家二軒
わが家の大きく見えし星月夜

露のうち葉の間引きもしておかな

赤谷 高橋チヨノ

旅立ちのつばめの無事に帰れよと

おくれ来て早目に帰る燕あり

刈取りの田のあとこぼれ稲穂かな

中仙田 左木人

大苗場稲妻走る峰の雲

人形を捨てたる如く妻昼寝

秋静かせせらぎ月を砕く音

元町 上村 トミ

白萩の雨に打たれて色失せし
ままことの料理の中の黄菊かな